

## 研究成果及び活動一覧 (1995.1.1~12.31) [五十音順]

- A：著書、論文、書評など  
 B：学会での口頭発表その他の活動  
 C：講演、論説など  
 D：学術的調査

## 磯貝芳郎

- A：1 ブロンフェンブレンナー『人間発達の生態学——発達心理学への挑戦——』（福富護と共訳）川島書店、12月  
 2 『心理学』（下山剛と共編）鷹書房、12月  
 B：1 日本社会心理学会第36回大会シンポジウム「いじめの社会心理」司会担当、於成城大学、9.23  
 2 『教育相談研究』No.79、80、81、82（季刊）編集、教育相談研究所

## 井上英明

- A：1 『『竹取物語』主題考補遺——比較文学における「素材・出典」の問題をめぐって——』、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第3号、pp.1~11、3.25  
 2 「輝ける海、あるいは海の玄関」、『日豪ニュージージーランド教師連盟創立二十周年会誌』12.10  
 B：1 日本比較文学会東京支部例会研究発表司会（早稲田大学）5.20  
 2 「1930年代英国文壇における中国文人——蔣彝『碎雜敦倫』（The Silent Traveler in London by Chiang Yee）を中心に——」、早稲田大学中国文学研究会（早稲田大学）5.20  
 3 第四十回国際東方学者会議・セミナーII、「日本文学の翻訳をめぐる諸問題」コメンテーター、（国立教育会館）5.27  
 4 全国大学国語国文学会常任理事兼事務局長として学会運営、年間  
 5 日本文体論学会常任理事として学会運営、年間  
 6 日本比較文学会研究紀要『比較文学』掲載論文査読委員（東京大学教養学部）、年間  
 7 日豪ニュージージーランド教師連盟顧問として講演、研修会運営、年間  
 8 公益信託英米教育交流奨学基金運営委員長、年間  
 C：1 『『源氏物語』一花の宴—を読む』東京都立大学都民カレッジ、4・5月各日曜日、全8回  
 2 「世界の中の源氏物語」佐倉市国際文化大学、11.11  
 D：1 末松謙澄事蹟調査、福岡・長崎県立図書館他、6.3~6  
 2 マオリ神話文献調査、国立民俗博物館、10.14~17

氏家洋子

- A : 1 「概念の記号としての言葉—高校教科書『現代語』の文章に関する研究者と大学生の意識—」『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第3号、pp.13~30、3.25
- 2 「クロスカルチャー時代の日本語—人・言葉・社会の新しい関係を求めて—」『青梅会報』第6号、pp.81~88、3.25
- B : 1 「『世界とは個人である』—普遍性の時代と『自分の』表現法—」、全国大学国語国文学会春季大会（テーマ：ことばと日本文学）、6.11
- 2 Descriptiveness of Language in Japanese and in English—Cultural linguistic survey—, 5th International Conference on Cross-Cultural Communication : East and West, at Heilongjiang University, Haerbin, China, 8.16
- D : 1 アイヌ民族の言語文化に関する調査、北海道大学文学部及び北方民族資料館において、5.9~13
- 2 異文化コミュニケーション、プラグマティックス（語用論）に関する研究交流、及びベルギーの言語文化事情の調査、ベルギー・ブリュッセル市の Université Libre de Bruxelles 及び Institut Catholique des Hautes Études Commerciales において、9.16~23

岡田恒雄

- A : 1 「J. M. R. レンツ『新メノウツァ』における過激な社会批判」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第3号、pp.83~94、3.25
- B : 1 「ヴェーデキントの『ルル』」、中央大学人文科学研究所「近代劇の成立」研究会、中央大学駿河台記念館、1.23
- 2 「エーリカ・フィッシャー＝リヒテの論文を読む」、西洋比較演劇研究会（日本演劇学会分科会）、共立女子大学、5.21

小河織衣

- A : 1 「ガブリエル・マルセルの思想(3) 具体的哲学——呼びかけとしての問い——」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第3号、3.25
- 2 『女子教育事始』、丸善、8.31
- B : 1 シンポジウム「長野とフランス」（日本仏学史学会全国大会）に、パネリストとして出席、6.24

加藤めぐみ

- A : 1 翻訳（分担）：『わたしが会った日本——オーストラリア人の日本人観』サイマル出版会、7月
- 2 「文化面からみたオーストラリアのアジア・太平洋国家化」、『オーストラリア研究』第6号、オーストラリア学会、9月
- (82) B : 1 オーストラリア・ニュージーランド文学会運営、年間

- 2 “Australian Images of Japan: A Japanese Perspective”: Crossing Cultures Symposium: Literatures and Cultures of the Asia-Pacific Region (Australian Defence Force Academy, Canberra) において、11.6～10

### 河野石根

- A: 1 「無釉陶器の美」第3回日韓共同芸術研究事業報告書  
B: 1 「都市景観の形成」美学会東部会例会発表 (12月)

### 古田島洋介

- A: 1 翻訳: ジョナサン・スペンス [著] 『マッテオ・リッチ 記憶の宮殿』、490ps、平凡社、1.10  
2 「江戸時代における赤縄故事」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科) 第3号、pp.41～50、3.25  
3 随筆: 「<遇 / らる>考」、東大比較文学会『比較文學研究』第67号、pp.174～177、10.20  
B: 1 「古典漢文の運命」、シンポジウム「環太平洋圏における日本文化の形成とその発展」、国際日本文化研究センター(京都)、2.23  
2 「関於杜牧<山行>詩的<坐>字」、「文化対話与文化誤読」国際學術討論会、北京大学(中国)、10.9  
3 翻訳・通訳: 「日本刀與人格的鍛練」「閉幕致詞」、第22回中日教師研討会、村尾次郎氏の基調講演「二十一世紀に望まれるアジアの教育——日本刀をとほして」および小堀桂一郎氏の「閉会の辞」を翻訳・通訳、国立教育会館(東京)、12.26～27  
D: 1 (財)水府明德会「彰考館文庫」(水戸)にて徳川家重要史料「泮林年表」(マイクロフィルム版)を閲覧・調査、12.21

### 小堀桂一郎

- A: 1 (編著)『東京裁判却下未提出辯護側資料』第一～四巻、國書刊行會、二月二十一日刊、解説第1巻 p.1～p.30  
2 (學位論文審査結果要旨)  
中村都史子「日本のイプセン現象 一九〇六～一九一六」、新田義之「R・ヴィルヘルムと中國」、福田真人「現代日本に於ける結核の文化史」以上、東大比較文學會、二月二十日發行『比較文學研究』第66号、p.154～p.164  
3 (講演筆録)「森鷗外の歴史小説——近世の人間の生き方について——」、関東短期大學、三月一日發行『國語國文』第四号、p.43～p.63  
4 (論文)「外國語教育の理念と實踐——大學一般教育課程の場合」、財團法人大學セミナーハウス、三月二十五日發行、『第31回大學教員懇談會記録 大學院改革の理想と現實』、p.72～p.85  
5 (編著)『東京裁判却下未提出辯護側資料』第五～八巻、國書刊行會、四月二十日

- 刊。第八卷『米上院軍事外交合同委員會に於けるマッカーサー證言』翻譯と解題 p.134~p.140、後記 p.333~p.342
- 6 (論文)「五十年後に問ふ大東亜戦争の歸趨」日本及日本人社、七月一日刊、『日本及日本人』盛夏号、p.20~p.32
  - 7 (論文)「法廷の米人弁護人達——東京裁判新資料」徳間書店、八月一日刊、『サンサーラ』八月号、p.20~p.29
  - 8 (論文)「東條英機の戦争史観」講談社、八月一日刊、佐藤早苗著、『東條英機 封印された真実』、p.282~p.311
  - 9 (編著)『東京裁判 日本の弁明』、講談社学術文庫、八月十日刊、解説 p.9~p.62
  - 10 (論文)「大日本帝國憲法と統帥權——或る知的傳統の斷絶について」、明治聖徳記念學會、八月十五日發行、『紀要』復刊第十五号、p.1~p.18
  - 11 (論文)「『善隣國寶』論」、マスコミ総合研究所、九月十五日發行、『アジア・レポート』第二七二号、p.26~p.36
  - 12 (論文)「アメリカの對日憎惡の歴史」、日本及日本人社、十月一日刊、『日本及日本人』爽秋号、p.32~p.45
  - 13 (書評) 安村廉著『歴史を裁いた政治家たち』(展転社刊)「産経新聞」十二月二十八日朝刊讀書欄
- C : 1 (評論)「東京裁判史観の自覺さぜる信奉者たち」、産経新聞社、二月一日刊、『正論』二月号、p.112~p.126
- 2 (講演筆録)「不戦・謝罪決議の不当性を衝く」、自由民主党終戦五十周年国会議員連盟、三月一日發行、p.1~p.25
  - 3 (講演筆録)「二十一世紀を迎へて東アジアからの發言」、日本青年協議會、四月一日發行、『祖國と青年』四月号、p.20~p.33
  - 4 (講演)「歴史の見方について」、関西佛教懇話會、六月十五日
  - 5 (講演)「現代史の再検討」、日本教育會夏期研修合宿、八月八日
  - 6 (講演筆録)「敗戦亡國史観を衝く」、展転社、八月十五日刊、『大東亜戦争の総括』、p.327~p.348
  - 7 (講演)「五十年目に見えて来たこと」、念法文化講座、小倉山金剛寺、八月二十七日
  - 8 (論説)「靖國御親拝の復活を」、産経新聞社、九月一日刊、『正論』九月号巻頭言、p.31~p.37
  - 9 (談話)「昭和天皇と東條英機」、講談社、九月一日刊、『現代』、p.46~p.56
  - 10 (講演)「東京裁判史観の克服」、陸上自衛隊東北方面總監部、十月十八日
  - 11 (論説)「“日本の弁明”について」、靖國神社、十一月一日發行、『靖國』第四八四号、p.4~p.5
  - 12 (講演)「歴史畫の復權」、栃木縣佐野市立郷土博物館、十一月十二日
  - 13 (講演)「正しい歴史認識とは何か——防衛の精神的基盤」、海上自衛隊第一術科學校、十二月十四日、同吳地方總監部・吳教育隊、十二月十五日

佐佐木茂美

- A : 1 Teruo SATO(1899~1994), *Bulletin Bibliographique de la Société Internationale Arthurienne*, vol. XLVI, 358~360  
 2 佐藤輝夫先生<著作目録>『比較文学年誌』早稲田大学比較文学研究室 No31、103~135  
 3 Nouvelles du Japon, *STUDI FRANCESI*, vol. 113, 423  
 4 「佐藤輝夫先生の学問」、『比較文学』、日本比較文学会、No37(1994)、116~121  
 5 Découverte du Moyen Age Français au Japon, *Lancelot-Lanzelet, (Mélanges Alexandre Micha, Professeur à la Sorbonne, Greifswald-Paris, 321~328*  
 6 In memoriam Teruo SATO (1899~1994), *Bulletin Bibliographique de la Société Rencesvals*, fascicule No.26 (1994~1995), Liège, 9~11  
 7 「佐藤輝夫先生の学問—その縁にあって」、『流域』、No.39, 54~61  
 8 Le Feu et la Fuite: le Tristan de Béroul et les autres *Romans de Tristan, Tristania*, vol. XVI, New York, pp. 77~100
- B : 1 Découverte du Moyen Age francais au Japon, Colloquium Medieval Ages-Renaissance, Arisona State University, 2/1995,  
 2 Colloque sur Christine de Pizan, Université d'Orléans, 7/1995 (質疑応答のための招聘)  
 3 Congrès International de la Littérature Courtoise, Belfast, Queen's University, 7/1995 (国際委員会出席)
- D : 1 Bibliothèque Nationale (Paris) および Bibliothèque municipale de Grenoble における写本の研究調査。

島田良二

- A : 1 「富樫広蔭著『古今集紀氏直伝解』について(二)」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科) 第3号、3.25
- B : 1 『屏風歌と歌合の研究』(風間書房刊) 編集  
 2 全国大学国語国文学会理事
- C : 1 朝日カルチャ千葉「源氏物語」(20回)  
 2 読売カルチャ柏「源氏物語」(10回)  
 3 東武カルチャ船橋「源氏物語」(12回)  
 4 千葉市民大学講座「古今集」(2回)  
 5 そごうカルチャ千葉「源氏物語」(6回)

正慶 孝

- A : 1 編著『全子測ファイル、90年代のビジネス戦略』(講談社、4月)  
 2 論文「文明論からみた環境問題——フロウスト的文化が招来した地球的巨視的課題」(『産業経営研究』第16号、3月)
- B : 1 講演「第三の一千年」(アジア問題研究会講述始め、1月19日、国立教育会館)

- 2 研究会委員（日本学術会議地球環境研究連絡委員会HD専門委員会小委員会合同会議、3月20日、日本学術会議）
  - 3 研究発表「非ユダヤ的ユダヤ人」（地下経済研究会、4月22日、於日本大学経済学部）
  - 4 学会司会（実践経営学会年次大会自由論題司会、於富山市、5月26日）
  - 5 研究会「NTT情報文化フォーラム」（5月29日、6月30日、7月24日、10月9日。於三井霞ヶ関ビルおよび赤坂プリンス・ホテル）
  - 6 研究会司会「現代日本の転換について」（アジア問題研究会主催、発表者ヘブライ大学エフド・ハラリ教授、9月24日、於国立教育会館）
  - 7 第八回梁漱溟セミナー司会「梁漱溟の現代的意味」（研究発表・中国南弁大学曹蹊明副教授、11月7日、於アルカディア市ヶ谷）
- C：1 『清流』連載「日本の“こころ”の源流を読む」（清流出版、11号および12号）
- 2 『テーマス』連載（テーマス社、1月号から12月号までコラム欄）
  - 3 対談「非日本人のススメ」（『財界につぼん』2月号、藤原肇氏）
  - 4 「「制裁」という言葉はおかしい日米協議の報道」（『週刊現代』5月15日号）
  - 5 「グロースの経済からの脱皮を」（『財界につぼん』7月号）
  - 6 「政治からの逃走」（徳間書店『サンサーラ』12月号）
  - 7 明星大学公開講座「『西郷隆盛』はいなかった——情報社会の虚と実」（10月14日、明星大学青梅キャンパス）

#### 須藤美奈子

- C：1 「英米児童文学の楽しみ——19世紀より現代へ」、都立大学・都民カレッジ、丸の内校舎、1月～3月（8回）

#### 高柳俊男

- A：1 「1950～60年代の在日朝鮮人と日本の世論」、『季刊青丘』第21号、2.15
- 2 「映画『朝鮮の子』——民族教育の原点として」、『ほるもん文化』⑤、2.20
  - 3 共著：『東京コリアン・タウン——枝川物語』、樹花舎、3.30
  - 4 共編：『北朝鮮帰国事業関連資料集』、新幹社、7.10
  - 5 「在日朝鮮人の自己認識と参政権、そして日本社会」、『ウリ生活』第12号、8月
  - 6 「東京・枝川町の朝鮮人簡易住宅建設をめぐる一考察」、立教大学史学会『史苑』第56巻第1号、10.31
- B：1 「東京にある近代日朝関係の史跡について——とくに『日韓合邦記念塔』をめぐる」、早稲田大学社会科学研究所朝鮮文化研究部会 1.18
- 2 「枝川町の朝鮮人集落の歴史」、在日朝鮮人運動史研究会例会 3.26
  - 3 シンポジウム「日本移・植民史の中の『満蒙開拓団』、「満蒙開拓団」調査研究会主催「戦後50年、いま『満蒙開拓団』を問う」、8.9
  - 4 「在日朝鮮人教育史における『都立朝鮮人学校』の時代」、在日朝鮮人研究会第3回全国大会シンポジウム「在日朝鮮人の教育の行方」、12.2

- C : 1 「在日外国人と名前——朝鮮人の場合を中心に」、在日外国人の人権を考える江東区民の会連続講座、1.23
- 2 「東京の在日朝鮮人史」、KMJ 研究センター「人権セミナー」、講演とフィールドワーク案内人、3.2、3.16、3.18
- 3 「東京の在日朝鮮人集住地域の歴史——枝川町を中心に」、現代語学塾公開講座、4.1
- 4 「もうひとつの戦後50年——地域に生きる在日韓国・朝鮮人」、'95あらかわ区民企画講座「いま考えよう、私たちの戦後50年」、9.25
- 5 1995年度東京都社会同和教育研修「東京のなかの韓国・朝鮮」、講演とフィールドワーク案内人、10.16、10.23
- 6 「東京のなかの“コリアンタウン”を歩く」、東京ボランティア・センター主催「ぼらんていあ・めっせ・東京」、フィールドワーク案内人、11.25

### 龍野武昌

- A : 1 項目執筆『世界人物逸話大事典』、角川書店
- C : 1 「老いに向って挑む——ある詩人の晩年にことよせて——」、明星大学青梅第六回公開講座

### 田中 敏

- C : 1 「ドイツ人の日本愛憎——異文化間の相互理解は可能か」、明星大学青梅キャンパス公開講座、6.17

### 万惠洲

- A : 1 《謙讓之礼的文化与語言》『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第三号、pp.11~19
- C : 1 《中国文化的特點》外務省研修所、中国語學員、9.22~12.22
- 2 《漢語裏的新詞新語》中国語研修学校、4.8~12.16

### 秀村研二

- A : 1 「現代韓国社会におけるキリスト教」、田辺繁治編『アジアにおける宗教の再生——宗教的経験のポリテクス——』、京都大学学術出版会、pp.389~402 5.10
- 2 「秋葉隆」「善生永助」「村山智順」の各項目、木村誠他編『朝鮮人物事典』、大和書房。5.5
- 3 「韓国キリスト教の現在とその理解」、東京都立大学社会人類学会編『社会人類学年報 第21巻』、弘文堂、pp.79~100 10.14
- D : 1 韓国漁村におけるシャーマニズム儀礼（別神祭）の調査、大韓民国慶尚北道迎日郡清河面、3.30~4.12
- 2 韓国キリスト教と社会変化の調査・研究および漁村社会の社会変化の調査・研究、大韓民国ソウル市、高楊市、慶尚北道迎日郡清河面、8.24~9.22

**丸山正義**

- A : 1 翻訳：アンリ=ルイ・ド・ラ・グランジュ「グスタフ・マーラー」『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第3号 3.25

**矢野浩三郎**

- A : 1 翻訳：スティーヴン・キング『ドロレス・クレイボーン』、文藝春秋、246ps、9.20  
2 「アメリカン・ゴシックとしてのモダン・ホラー」、アトリエ OCTA 『幻想文学』第45号（アメリカ幻想文学必携）9.20
- B : 1 「エンターテインメント文学の日本語翻訳」（On Japanese Translation of Popular Novels）第40回国際東方学会議、5.27
- C : 1 講演「作家のための著作権」、CWS 特別講座、9.8  
2 講演「キングとフォレットの翻訳について」、oak 翻訳研究室特別講座、11.30、12.14  
3 談話「再販制と読者利益と文化への認識」、トーハン『書店経営』12月号

**山下善明**

- A : 1 「《生命》論への第一章——前半」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第3号、3.25
- B : 1 「表現と愛——西田哲学のゲーテ的側面」、金沢工大・“場”の研究会、上智大学東洋宗教研究所、1.28  
2 「続・表現と愛」同所、3.21  
3 「身と世」、東京寸心会、国立婦人教育会館、9.23  
4 上智哲学会会誌『哲学論集』第21号 編集委員
- D : 1 西田幾多郎の事蹟調査（石川県宇ノ気町西田記念館、金沢市四高記念図書館、京都大学文学部図書館）3.22～28  
2 ドイツ語にみる哲学的言語の分析、上智大学アルムルスター研究室、アドルノ研究会、年間

**和田正美**

- A : 1 書評：「村松剛著『西欧との対決』」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第3号、pp.61～64、3.25
- D : 1 旧植民地における日本語文献について：大韓民国ソウル市中央図書館等において資料調査、10.25～28